

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2006-98852(P2006-98852A)

【公開日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-286096(P2004-286096)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/18 (2006.01)

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 6

G 0 3 G 15/08 5 0 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月10日(2007.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

装置本体から引き出し可能なユニットを有し、前記ユニット内には、1つまたは複数の装置が配置された、着脱自在な枠体を備えるとともに、前記ユニットには、前記装置に電力を供給する端子受部が設けられ、任意の前記装置には、前記端子受部と接続され、前記装置に電力を供給する端子が設けられ、前記枠体を前記ユニットから外した時に、前記端子と前記端子受部との接続が解除されることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明は、請求項1記載の画像形成装置においては、装置本体から引き出し可能なユニットを有し、前記ユニット内には、1つまたは複数の装置が配置された、着脱自在な枠体を備えるとともに、前記ユニットには、前記装置に電力を供給する端子受部が設けられ、任意の前記装置には、前記端子受部と接続され、前記装置に電力を供給する端子が設けられ、前記枠体を前記ユニットから外した時に、前記端子と前記端子受部との接続が解除されることを特徴とする。